

## 第6回 『ふれあいトーク～市長と給食当番～』 事業記録

**1 日時** 平成22年12月16日(木)  
午前12時00分～午後1時25分

**2 実施校** 宇都宮市立上河内中学校  
○給食時の懇談 生徒会本部役員(前期・後期)と中央委員等 計20名

### 3 実施内容

○4時間目の授業参観 (12時05分～12時35分)

・校長先生の案内いただき、全10クラスを市長が授業参観

○給食当番 (12時15分～12時30分)

・生徒と市長が給食配膳

【給食当番の様子：市長は「ゆずメロンパン」を配りました】



○給食 (12時45分～13時05分)

- ・司会・・・・・・・・前生徒会長 金指 和樹 さん
- ・はじめの挨拶・・・・生徒会長 鶴川 彩華 さん
- ・給食(献立)・・・・ゆずメロンパン, 牛乳, オムレツ,  
スパゲッティナポリタン, イタリアンサラダ

## ○生徒との懇談（13時05分～13時15分）

- ・生徒から市長への質問形式で対話（主な内容は下記のとおり）

☆生徒： 私はバスケ部に所属していて、体育館で練習をしています。体育館が雨漏りしているので修理をして欲しいです。

★市長： 小中学校あわせて市内に93校ありますが、中には古くなっている学校もあります。

市では、順番を決めて耐震補強を行っています。校舎と体育館の修繕を進めていきますが、平成28年度までにはすべての工事を終える予定です。しかし、学校の数が多いので、優先順位を決め順次補修を実施していきます。

☆生徒： もうすぐスマートインターチェンジが出来ますが、完成したらその周辺がもっと発展して欲しいと思っています。

★市長： 上河内は高速道路の出入口・玄関口となります。上河内のいいところは、ゆず、梵天の湯などたくさんあり、何よりも自然や住んでいる人の素晴らしさは宇都宮市の財産だと思っています。合併してよかったと思います。インターチェンジは物流や観光の拠点となります。

皆さんにも、上河内に来たすべての人や観光客の方に対して、おもてなしの心を持って接していただきたいと思います。みんなで盛り上げて行きましょう。



☆生徒： 宇都宮市の中心部は、空洞化が進んでおり、オリオン通りなども閉まっているお店が多いと感じますが、このことについて市長はどう考えていますか。

★市長： 宇都宮市の中心部に足を運んだことのある生徒さんはどれくらいいますか？歩いている人が少なく、新聞などにも「シャッター通り」と書かれていることも多

く、そういうイメージがあるようですが、閉まっているお店ばかりではないんです。

中心部をよりいっそう活性化させるために、若い人が中心部に住む際の家賃補助、店舗への内装費の補助、様々なイベント（クリテリウムの実施など）を行っています。餃子祭りは約10万人の来場者があります。クリテリウムは3万人、宮祭りは50万人も人が来ています。中心市街地に人が来なくなっているのは全国的な傾向であり、その中でも宇都宮はがんばっています。

中心市街地の通行量調査というものを実施した結果、対前年比で、近隣の県庁所在地では20%も通行量が減っている市もあります。宇都宮は、前年比+0.1%でしたので、通行量の減少には歯止めがかかっていると考えられますが、にぎわっている郊外に比べてまだまだ活気が少なく、もっと頑張る必要があります。皆さんも、土日は是非中心市街地に遊びに来てください。

☆生徒： 私たちがケガをしたり病気になったりした時、市内の病院に行くと医療費がかかりますが、他の市では医療費が無料のところがあると聞き不平等ではないかと思います。宇都宮市でも医療費が無料になるようにできませんか。

★市長： 栃木県内の市町村では、中学3年生まで医療費を無料としているところもありますが、宇都宮市では小学校6年生までです。

ただ、福祉政策全体でみると、妊婦さんへの医療費助成などを行っており、宇都宮市は「子育てがしやすいまち」として全国2位になっており、福祉政策は充実しています。現在は、各市町村が独自に助成を行っていますが、本来は、全国どこに住んでいても平等に医療を受けられるべきであると思いますので、国に対策を考えてもらうようお願いしています。



☆生徒： これから宇都宮市をどうやって盛り上げていきますか。

★市長： すごくいい質問ですね。私は宇都宮市を全国で5本の指に入る都市にしたいと思っています。

実現するには、まず少子高齢化対策を進める必要があります。このクラスで、3人以上兄弟がいる人はどれくらいいますか？やはり昔と比べると少ないですね。宇都宮市では、将来3人に1人が高齢者という時代を迎えます。少数の若い人で高齢者を支えるのは限界があります。

そこで、ミニバスやジャンボタクシーやLRTなどをまんべんなく配置し、車に乗れない高齢者の方でも行きたいところに不自由なく移動できるまちづくりを目指します。このようなまちづくりを進めることについて、市民の皆さんに理解を求めています。

まちが便利になれば、宇都宮市に住みたい人やお店を出したい人が増えます。人が増えれば税収も増え、先ほど皆さんから出た質問の「医療費無料化」も、多くの年代の人まで拡大できるかもしれません。そういうまちづくりを進めていきたいと思います。

#### 〇ごちそうさま (13時15分)

- ・市長 お礼の挨拶
- ・ふれあいトーク終了